

## 自己紹介をしよう

目標：日本語で簡単な自己紹介ができる。

時間	児童生徒の活動	指導上の留意点・教材
5	<b>1 挨拶の復習をする。</b> ・絵カードを見て、「おはよう」「こんにちは」等の挨拶の言葉を言う。	・覚えている様子を見ながら、絵カードを使わない方法も取り入れていく。
10	<b>2 自己紹介を練習する。</b> ① 教師が教師を指さしながら、「名前は〇〇」と教師の名前を言うのを聞く。 ② 教師が児童生徒を指さしながら、「名前は●●」と児童生徒の名前を言うのを聞く。 ③ 教師に指さされながら「名前は」と聞かれたら、「●●」と自分の名前を言う。 ④ 教師が教師を指さしながら、「名前は〇〇」と教師の名前を言うのをまねて、自分を指さしながら「名前は●●」と自分の名前を言う。 ⑤ 教師が「わたしの名前は〇〇です」と自己紹介するのをまねて、「わたしの名前は●●です」と自己紹介する。	・児童生徒の母語で、「自己紹介の練習をする」ことを伝えてから活動を始めたい。 ・児童生徒に「あなたは●●」と言うと、児童生徒が自分のことを「あなた」と呼ぶようになるので留意する。 ・この段階では、男の子も「わたし」を使用させる。「ぼく／わたし」は、 <b>23</b> で学習する。
10	<b>3 出身国をどのように発音するのか理解し、日本語で言う。</b> ① 教師が、世界地図のそれぞれの国の位置を指さしながら、「ブラジル」「フィリピン」「中国」等と言うのを聞く。 ② 教師が指さす世界地図の国の名前を言う。(例)「ブラジル」「フィリピン」「中国」等	★世界地図等 ・児童生徒の出身国や地名を用いる。 ・児童生徒を指さした後に、その児童生徒の出身の国を指さすと分かりやすい。
10	<b>4 自己紹介のシートを記入する。</b> <シート例> ・「こんにちは」「わたしの名前は●●です」「□□から来ました」「よろしくお願ひします」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ★自己紹介シート            平仮名が難しい場合はアルファベットでよい。         </div>
10	<b>5 シートを見ながら自己紹介の練習をする。</b>	・児童生徒の自信を高めるために、学習後、在籍学級で自己紹介の機会を設定する。

凡例：・留意点 ★教材